



全国でもハツラツとしたプレーを

南関中学校 田中光輝さん

7月19日、久留米市の中学生硬式野球チーム「筑後リバーズ」に所属する南関中学校2年生の田中光輝さんが町長を表敬訪問し、7月22日～26日にかけて東京都で行われる「マルハングループインビテーション大倉カップ第49回全日本選手権大会」への出場を報告しました。田中さんは「予選から全国レベルの選手と対戦してレベルの高さを痛感したが、日本代表投手からヒットを打つなど手応えも感じた」と振り返り、「これからはチームをまとめ、頼れる先輩としてチームを引っ張っていけるようがんばります」と意気込みを語りました。



全国の舞台で一勝でも多く

南関第二小学校 小竹実空さん

7月27日、南関ジュニアソフトテニスクラブに所属する、南関第二小学校6年生の小竹実空さんが町長を表敬訪問しました。小竹さんは5月に行われた県予選で優勝したことを受け、8月3日～6日にかけて兵庫県で開催される「第40回全日本小学生ソフトテニス選手権大会」へ、女子ダブルスと団体で県代表として出場することを報告しました。小竹さんは「一球一球に集中して最後までボールを追いかけ、自分の力を出し切って少しでも上に勝ち上がれるようがんばります」と意気込みを語りました。

安全安心な地域社会を目指そう

社会を明るくする運動

8月6日、「社会を明るくする運動推進大会および青少年育成推進大会」が南の関うから館で開催されました。本運動は、犯罪や非行のない安全・安心な社会を築くことを目的としており、運動の一環として毎年小・中学生は作文や標語を書いています。この日は、入賞者による作文や標語の優秀作品発表、谷口教育長による表彰や講評が行われました。大会の後には玉名高校演劇部による劇も披露され、会場は感動で包まれました。



▲表彰を受けた受賞者ら

走りで恩返しを

南関中陸上部 後藤煌稀さん

7月28日、南関中学校陸上部に所属する3年生の後藤煌稀さんが町長を表敬訪問しました。後藤さんは6月に行われた「第69回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会」で共通男子3000mに出場し、8分56秒51で全中標準記録の8分57秒を突破したことを受け、8月22日～25日にかけて愛媛県で開催される「第50回全日本中学校中学校陸上競技選手権大会」へ出場します。後藤さんは「昨年から本格的に陸上を始め、多くの方に支えられてここまでこれた。全国ではベストな結果を出し、みんなに恩返しができるようがんばります」と意気込みを語りました。



▲遠山教諭(左)、後藤煌稀さん(中央)、佐藤町長(右)



▲ソフトボール

▼ビーチボールバレー



気迫溢れる全カプレーを披露

子ども会球技大会

7月23日、町子ども会連合会(平山大介会長)は「南関町子ども会親善球技大会」を農村広場グラウンドと農業就業改善センター体育館で開催しました。ソフトボールとビーチボールバレーの2種目に分かれて、チーム一丸となりそれぞれ白熱した試合を繰り広げました。

- | | |
|---------------|--------------|
| 【大会結果】 | 優勝 |
| ○ソフトボール(3チーム) | → 二小子ども会 |
| ○ビーチボールバレー | |
| ・女子の部(5チーム) | → ライトスター(四小) |
| ・混合の部(4チーム) | → コスモス(三小) |
| ・低学年の部(3チーム) | → 四小防衛隊 |

ココロもカラダも元気にスタート

ラジオ体操

7月23日、農村広場で「みんなでラジオ体操をしよう!」が実施され、子どもから大人約100人が、朝の空気を胸いっぱい吸い込み、元気に身体を動かしました。老人クラブ連合会や地域婦人会、子ども会連合会の共催で、ラジオ体操を通した子どもの健全育成や世代間交流を目的に実施。参加した三宅佑浄さんは「朝からみんなと気持ちよく体を動かさせて楽しかった」と笑顔で話しました。



▲しっかりと体を伸ばします

摘みたてを味わおう

文化幼児園 ブルーベリー狩り

7月18日、認定こども園文化幼児園(久保田美智子園長)の年少・年中・年長児33人が、関村の農園でブルーベリー狩りを楽しみました。ブルーベリーは関村の島崎さんが栽培しているもので、今回園児たちに収穫体験を楽しんでもらおうと企画。説明を聞いた園児は、丸く熟れた実を一つひとつ丁寧に摘み取りました。箱いっぱいブルーベリーを収穫した園児たちは「甘くてプルンとしておいしい」「おうちに帰ってみんなで食べるのが楽しみ」と笑顔を見せました。



▲たくさん穫れて満足な園児



▼ボンドアート教室 (講師:富永ボンド氏)

▲おいしいお茶の入れ方教室(講師:伊藤園)



とっておきの夏休み特別体験

夏休みひまわり教室

8月9～10日(1～3年生)と16～17日(4～6年生)の4日間、小学生を対象に「夏休みひまわり教室」が開催され、参加した約110人が南の関うから館で、さまざまな教室を体験しました。南関町社会福祉協議会主催で、友達や地域の人と豊かなリアル体験に取り組み、夏休みの思い出になればと企画。低学年と高学年に分かれ、ハイパーヨーヨーやスーパー竹とんぼ教室、福祉学習車いす介助などに挑戦しました。ボンドアートを体験した黒田朋花さんは「ボンドで絵を型取ったり下書きをせずに色を塗るのが難しかった。完成を想像しながら書くといい感じに仕上がったので良かった」と笑顔で話しました。